

凌雲台

ふるさとに笑顔広げる 龍野っ子
～笑顔 元気 感謝 安全～

龍野小学校学校便り
第65号
令和4年 3月22日
文責：校長 大江律子

「6年生 修了式～1年間 あいごとう」

22日、6年生の修了式を行いました。修了式では、私だけではなく、教頭先生、木元先生、宗先生からお話しをしていただきました。教頭先生から、「日常生活でもさすが6年生というがんばりを見せてくれた。自信をもって中学校に入学してほしい。」木元先生から、「若いということは変われるということ、出逢いを大切に、成長してほしい。」宗先生から、「めんどくさいということは大事なことが多い。また、皆さんの周りには応援者がたくさんいるということ覚えてほしい。」というメッセージを伝えました。



6年生の皆さんは一人一人がかけがえのない存在です。ドラえものの、「一番いけないのは、自分なんかダメだ・・・と思い込むことだよ。」「目が前についているのはなぜだと思う？前へ前へと進むためだ。過ぎたことにくよくよせず、前を向いて頑張りなさい」という言葉を伝えました。みなさんのこと、龍野小の職員一同いつも応援しています。

道徳「人生の金メダル」～6年生の授業から～

16日（水）、2時間目に6年生と道徳「人生の金メダル」の授業を行いました。これは、JOC会長の山下泰裕さんの教材です。山下泰裕さんは、現役時代「203連勝」というギネス記録を樹立されました。「なぜ、山下選手は203連勝をすることができたのか」ということで、子供たちと考えていきました。



授業の最初に「夢の実現で大切なこと」を出し合いました。そこでは、あきらめない、努力、挑戦、目標を明確に、色々な人の支えなど考えていました。

山下選手の生き方を考え、話し合う中でそれぞれが、自分なりの夢の実現について考えました。「試合のときに気をぬいて負けたことがあるから全力を尽くすこと」「謙虚な心」「自分自身を見直す・見つめ直すこと」「話を聞くこと」などたくさんの自分の答えを見いだした6年生の子供たちです。

6年生に、自分の夢の実現に向けて前向きに取り組んでほしいと考え授業をしました。無限の可能性のある6年生のことをいつも応援しています。

登校班 1年間あいごとう～新しい班長へのバトンパス～

1年間、登校班を引っ張ってくれた登校班で、班長、副班長のおかげで、1年間安全に登校することができました。事故やケガもなく登校できたのも、班長、副班長のおかげです。

18日から、新しい班長が班を連れてきています。6年生が見守る中、登校することができています。あいにくの雨でしたが、傘をさしても一列に並んで子どもたちを連れてきています。



「一列に登校する」という龍野小の伝統が少しずつできるようになってきました。登校班で上級生は責任感や思いやりが育ちます。下学年は感謝の心が育ちます。

今日も雨の中、地域の方や保護者の方が立っていただいていた。本当にありがとうございました。今日、毎日一緒に歩いてくださる市下さんにお礼を言った6年生の子供もいたそうです。「感謝の心」大切にしたいですね。

3連休に子供たちが元気に過ごしてくれました。ご家庭での健康管理、いつもありがとうございます。